

令和元年第3回定例会一般質問

9月6日（金）

14番 首藤 正光 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 職員の喫煙所の利用について	喫煙する職員と喫煙しない職員との労働時間に差が生じるなどの支障はないか。また、喫煙所の利用時間を決めるのかどうか。	市長	
2 職員派遣について	労働組合に専従で派遣しているが、いかなものか。	市長	
3 庁舎外のトイレを設置してはどうか	早朝、市役所本庁舎前に集合・出発する各団体より、トイレがないため不便であるとの声が多く聞かれるが、設置できないか。	市長	

9番 神志那 文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 奨学金の「給付・貸付制度」から「返還支援制度」への移行について	(1) 廃止するとしている2制度の総括について。 2制度とも、利用者が少ない、申請数も減っているとのことだが、その理由をどのように分析しているか。 (2) 新制度の対象者について。 ① 「公務員でない者」とした根拠を伺う。 ② 「市内又は市外の事業所に就職し雇用されている者」は「正規職員」に限定せず非正規雇用も含めるべきでは。 (3) 新制度の補助内容について。 ① 補助率を3分の2、上限は年20万	教育長	

	円、5年間で100万円とした根拠を伺う。 ② 補助対象者の負担を減らすために、補助は当年度の返済を対象に月次で行うべきでは。また、返還を求めるに至った場合も、月次で求めるべきでは。		
2 国保税は子どもの均等割を免除し、子育て支援の拡充を	本市の国民健康保険は、2017年度決算では、実質収支と基金残高の合計が、9億1,306万8,648円であったが、2018年度決算では、同じく9億3,899万4,733円と、2,592万6,085円もの増加となっている。 事業主負担が無く高すぎる国保税は、抜本的な改正で大幅に引き下げるべきであるが、自治体独自でできることとして、子育て支援を拡充する目的で、子どもの均等割の免除を検討してはどうか。	市長	

6番 川野 優治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 人口減少社会にどう対応するのか	国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、日本の将来人口は100年も経たないうちに半減するというショッキングな報告がなされています。ただ人口減少には地域差があり、地方では急な勢いで、それに対し、大都市圏ではゆっくりという二極化で進行するとされています。本市では2040年に4割以上減少するとされています(2015年比)。 急激な人口減少は、自治体運営にも深刻な影響を及ぼしますが、特に懸念される2点について質問します。	市長	

	① 市民病院は、現在の規模、形態を維持できるのか。 ② 限界集落や限界を超えた集落が多くなり、そこでは住民の力による集落の維持運営が困難となるが、行政としてはどう対応するつもりか。		
2 災害に対する備えは万全か	近年、災害が多くなり、災害報道に接するたびに、本市で起きたらと、我が事のように不安を感じるようになってきました。 そこで、災害の際の避難場所の確保、避難ルートの周知、避難所での救援態勢、他の自治体との連携等はどうなっているのか伺います。	市長	

4 番 穴見 眞児 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 地域医療について	地域医療に貢献した清川診療所が来年の夏、三重町にある三重東クリニックへ移転統合されとのこと。 これまで清川診療所を運営してこられた社会医療法人関愛会の方々には感謝いたしますが、清川町から医療機関がなくなることにより利用者の方々や地域住民は不安を抱えています。 ① 地域から医療機関がなくなることについて、行政としてどう捉えているのか伺います。 ② 清川診療所が移転統合された場合、市民病院のサテライト的な運用はできないのか伺います。	市長	

2 神楽会館周辺整備について	現在、神楽会館横に清川支所の建設、神楽会館の一部改修等が進んでおり、今後、道の駅きよかわなどの周辺施設と合わせた賑わいの創出に期待しているところであります。一方で周辺の駐車スペースが少なく不便を感じているとの声が多くあります。 ① 今後、神楽会館周辺の駐車場整備を行う計画があるのか伺います。 ② 支所、神楽会館及び道の駅きよかわのエリアの賑わいを今後どのように創出していくのか考えを伺います。	市長	
----------------	--	----	--

令和元年第3回定例会一般質問

9月9日（月）

5番 田嶋 栄一 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 地域振興対策 について	少子高齢化により人口減少に歯止めが利かない中、活力あるまちづくりを目指して多種の補助事業が行われている。その事業について、現状と今後の方針を問う。 ① まちづくり協議会について。 合併後、各町の自主的活動を支援してきたが、今後の展開は。 ② 地域振興協議会について。 市内 206 自治委員会中、高齢化率 50%を超える小規模集落が 109 あるが、推進対策は。 ③ 観光イベント補助金について。 人手や事業所が少ない町は資金捻出が厳しく、維持継続に苦慮している。今後の方針は。	市長	
2 学校教育の充 実について	「主体的な自己実現をめざして～15に春を～」を基本目標と定め、取組をしているが、その充実対策について問う。 ① 情操教育（豊かな心の育成）の推進について。 学力向上を図る上で重要と言われている読書活動は、豊かな心を育てることに繋がる。その重責を担うのが図書館司書と思うが、司書の役割をどのように捉	教育長	

	えているのか。 ② 奨学金給付・貸付制度の移行について。 現行の大分県立三重総合高等学校に対する制度から、対象要件等を変えた返還支援制度に移行する必要性を問う。		
--	---	--	--

3 番 吉藤 里美 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 市役所職員の 職場環境について	① 最近、メンタルの病気を患って休んでいる職員が増えたと聞き、危惧しています。その現状とメンタルヘルス対策をどのように行っているのか伺います。 ② 平成 30 年 9 月に、市役所の障がい者雇用率の算定誤りが報告されましたが、現在の雇用率と、職場においてどのような合理的配慮がなされているのか伺います。 ③ 将来的に、テレワーク（情報通信技術を活用し時間や場所の制限を受けずに柔軟に働く形態）の導入は考えられないのか伺います。	市長	
2 本市における 児童虐待について	厚生労働省は、今年 8 月 1 日、全国の児童相談所で 2018 年度（平成 30 年度）中に対応した児童虐待件数が 15 万 9,850 件で過去最多を更新したと公表しました。 以下について伺います。 ① 本市における児童虐待の状況について。	市長	

	② 情報共有や関係機関との連携体制について。		
3 選挙における投票率の向上対策について	本市における近年の選挙の投票率を見ると、平成 29 年 4 月の市長選挙は 77.28%、市議会議員選挙は 77.19%、平成 29 年 10 月の衆議院議員選挙は 60.77%、今年 4 月 7 日執行の県知事選挙では 40.80%、7 月 21 日執行の参議院議員選挙は 52.14%という投票率となっています。 この状況をどう分析し、投票率向上のため、どのような対策を講じるのか伺います。	市長	